

人を裁くな

マタイによる福音書七章1〜6節

きょうだいに向かって、「あなたの目からおが屑を取らせてください」と、どうして言えようか。自分の目に梁があるではないか。(4)

「人を裁くな」と主は言われます。裁くとは、正しい善悪の判断とは違い、人のあら探しを好んですることです。確かに私たちは、何とたやすく他人を裁いてしまうことでしょう。まるでストレスを解消するかのように、私たちの口からは他の者の批判が次々と飛び出します。主イエスの目からご覧になると、私たちは自分の目の中に丸太が突き刺さっていることに気づかずに、他人の目にあるおが屑を取ろうとしているようなものだというのです。私たちはそのような自分の姿に気づかずに、人を裁いてしまうのです。私たちは皆、神によって裁かれるべき存在です。突き刺さっている罪の梁を神によって取り除いていただかなければ生きることができない者たちです。私たちのこの目を、他人の欠点を探すために用いるのではなく、自らの罪を素直に見つめるために用いたいものです。